

～阪神大水害から80年～

猪名川河川事務所

国土交通省では、地域の方々と治水施設の生い立ちを振り返り、その果たしてきた役割や地域の水害・土砂災害リスクについて再認識していただくため、完成から一定期間経過した施設について、パネル展示等を実施する「アニバーサリープロジェクト」を推進しています。

今年度は、阪神大水害(昭和13年7月洪水)が発生してちょうど80年が経過する年にあたることから、猪名川下流域の尼崎市内で開催された「尼崎市民まつり」で、過去の洪水被害や河川改修事業を紹介するパネル展示及び説明を行いました。

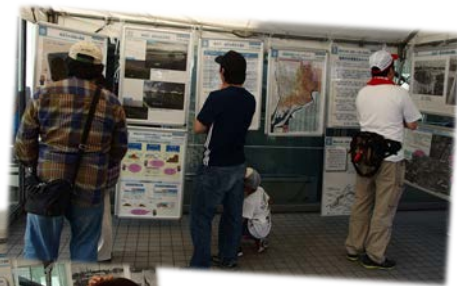
パネル展示の概要

場所:アルカイク広場(尼崎市総合文化センター前)

開催日:平成30年10月8日(月・体育の日)

内容:「阪神大水害」、「猪名川河川事務所の取り組み(戸ノ内・利倉捷水路事業等)」、「尼崎市洪水ハザードマップ」等

会場の様子



＜阪神大水害の被害状況＞



水浸しになった阪急変電所

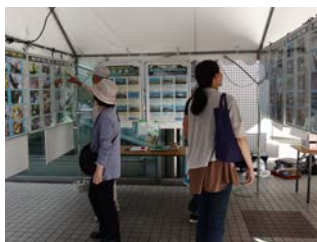


真二つに折れた神崎橋
(兵庫県と大阪府の境)

＜イベントの様子＞

尼崎市民まつりに猪名川河川事務所のブースを設置し、洪水の歴史や防災に関するパネル展示を実施しました。特に今年は西日本を中心に大規模な災害が発生したため、ハザードマップ等の防災に関するパネルには多くの来場者が興味深く見入っていました。

いながわ水環境パネル展も同時開催



水環境パネル展



簡易水質試験

猪名川の河川環境に関するパネル展示と簡易水質試験(バックテスト)の無料体験も同時に開催しました。来場者の皆様に猪名川の河川環境や活動団体の取り組みについて理解を深めていただきました。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
猪名川河川事務所 工務課
〒563-0027 池田市上池田2-2-39 TEL 072-751-1111(代)



水防災意識社会
再構築ビジョン

